

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 緊急アピール

障害者も安保法制に断固反対します

私たち『「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム』は、差異の尊重や多様性の重視を基調にした福祉制度の青写真である「骨格提言」の完全実現を求め、障害者当事者が地域・障害種を超えて集まっている団体です。

私たちは、日本が戦争をできる法案、戦争に巻き込まれる法案に、断固反対します。その理由は、戦争は社会の多様性と大きく矛盾し、事故や病気等で誰でもなりえる障害者を切り捨てるからです。

「骨格提言」は、「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言」というもので、2011年8月に障がい者制度改革推進会議総合福祉部会がまとめた文章です。「提言」では、人を線引きしない福祉施策を求めています。この考え方は、日本を含む世界の仲間が長年訴えてきたものであり、昨年1月に日本も批准した障害者権利条約に通ずるものです。

しかし政府は、その「骨格提言」をほとんど無視して、上記の福祉法と相容れない法制度をつくり運用しています。アパルトヘイトなどの隔離政策がいかに非人道的であるかは常識ですが、政府は障害者の地域生活を支える基盤の充実に消極的で、その結果、多くの障害者が施設に入所して暮らさざるを得ない状況にあります。私たちは、年に1回の日比谷野外音楽堂での集会等を通して、一般市民として障害のない人と同じように、地域で生活していくための具体的な方策を提言した「骨格提言」の内容が実現されるように訴えつづけています。

戦争は、障害者権利条約や「骨格提言」の内容を根底から否定するものです。戦争は、地球市民を味方と敵に分け、味方をも、国のために役に立つかという観点で分けることとなります。そこには、私たちが求めてきた差異の尊重、多様性の重視は存在し得ません。先の戦争中には身体障害者に対しては役立たずとして毒まんじゅうが配られたり、精神病院に拘禁された患者が大量に餓死したという事実があります。戦争になれば真っ先に切り捨てられるのは障害者なのです。

今国会に上程されている安全保障関連法案は、同盟国が攻撃されればやり返す、同盟国が戦争を始めれば参加することを法律上できるようにするものです。政府は、「日本を守るため」としています。しかし、戦争＝暴力で生まれるのは、悲しみ・憎しみだけです。アメリカはデマに基づいてイラク戦争を始めました。誤爆も多くしています。為政者の偏った判断で、私たちが切り捨てないでほしいのです。

私たちは他の団体とも連帯し、安全保障関連法案など戦争につながる法案に反対を表明します。

2015年8月13日（木）

「骨格提言」の完全実現を求める大フォーラム 一同

「骨格提言」の完全実現を求める 10・29 大フォーラム 2015 実行委員会

〈呼びかけ団体〉（順不同）

日本脳性マヒ者協会 全国青い芝の会／障害者の生活保障を要求する連絡会議／ピープルファーストジャパン／全国「精神病」者集団／難病をもつ人の地域自立生活を確立する会／怒っているぞ！障害者切り捨てー全国ネットワーク／全国ピアサポートネットワーク／兵庫県精神障害者連絡会／神奈川県障害者自立生活支援センター／自立生活センター・グッドライフ／こらーるたいとう／スタジオ IL 文京／自立生活センター・立川／CIL くにたち援助センター／町田ヒューマンネットワーク／自立生活センター・たいとう／あいえるの会／自立生活センター三田／自立生活センター北／ガチャバンともに生きる会／鈴木敬治さんと共に移動の自由をとりもどす会／自立生活センター福岡／障害者権利擁護センター くれよんらいふ／魔法陣／世田谷介助者ユニオン／基準該当事業所「新しい空」／自立生活センター HANDS 世田谷

（2015年8月2日現在）

〈連絡先・事務局〉

自立生活センターHANDS 世田谷

〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺 1-32-21 スマイルホーム豪徳寺 1F

TEL 03-5450-2861／FAX 03-5450-2862／Eメール hands@sh.rim.or.jp

**「骨格提言」の完全実現を求める 10.29 大フォーラム
2015年10月29日（木）12時から 日比谷野外音楽堂にて**